

美しい 県土づくりNEWS



2010年
8月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 73号
平成 22年 8月 10日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 「平成 23 年度政府予算提言・要望」を実施
- 3 県土整備部への要望等に関する取組状況を公表
- 4 『森と湖に親しむ旬間』イベント開催
- 6 岩手県公営住宅等長寿命化計画を策定
- 8 「いわて汚水処理ビジョン 2010」(素案)を作成
- 9 親子で見るダムの現場
- 10 「遠野地域環境美化活動」を実施
- 11 織笠川水門の整備が進捗
- 12 「住まエネフェスタ 2010」開催のお知らせ
- 13 「下水道フェスタ 10」開催のお知らせ
- 14 土砂災害写真パネル展開催のお知らせ
- 15 明日を担う若手職員を紹介します
(盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所 村上技師)

いわて・平泉観光キャンペーン PR キャラクター
わんこきょうだい



長内川放水路トンネルが貫通！！ ～ 岩泉町小本地区の洪水被害の軽減へ一歩前進 ～

県が岩泉町で整備を進めている「長内川放水路トンネル」が平成 22 年 7 月 2 日に貫通しました。

「長内川放水路トンネル」は、洪水被害が多発している岩泉町小本地区の洪水対策として整備しているもので、今年 4 月末にトンネル工事に着手し、約 2 ヶ月の掘削作業を経て、今回貫通となりました。当日は、晴天に恵まれ、貫通の瞬間、トンネル内に光が差し込み、とても神秘的な光景となりました。

今後は、覆工コンクリート等の施工を行ない、年内の暫定供用を目指して工事を進めていきます。



トンネル 着手前



トンネル 貫通後



現場見学会



貫通を祝う関係者



トンネル貫通!!

『平成23年度政府予算提言・要望』を行いました！！

～ 達増知事が高規格幹線道路等の整備促進や名古屋圏との航空ネットワークの確保などを提言 ～
県土整備企画室

平成22年度の本県の国土交通省関係の直轄事業費は、道路整備事業で対前年度比24%減、港湾・海岸整備事業で対前年度比34%減となるなど、大幅な減少となり、完成時期の遅れなどが懸念されます。また、今年度創設された「社会資本整備総合交付金」等の本県への補助事業などの予算も対前年度比24%減（国費ベース）と大幅な減少となり、本県にとって必要な社会資本を適切に整備し、維持管理していくための予算が十分に確保されているとは言えない状況にあります。

このため、本県では、平成22年8月3日（火）民主党の松浦副幹事長、国土交通省の津川政務官に対して、『平成23年度政府予算提言・要望』を行いました。

国土交通省関係では、達増知事から、**三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備促進や、久慈港の湾口防波堤などの港湾・海岸整備事業の促進、地方の社会資本整備を推進するための予算の確保**などを求めたほか、平成22年5月6日からいわて花巻空港～名古屋（中部国際）線が運休されたことに伴い、**名古屋圏との航空ネットワークの確保を要望**しました。

県では、今後とも、必要な社会資本整備を着実に推進するため、国や民主党などに対し、提言活動等を行っていきます。

民主党 松浦副幹事長への提言



平成23年度政府予算提言・要望（国土交通省関係抜粋）

平成22年8月3日 岩手県

- 1 道路整備事業の促進について
- 2 防災施設整備事業の促進について
- 3 港湾・海岸整備事業の促進について
- 4 ダム建設事業の促進について
- 5 名古屋圏との航空ネットワークの確保について
- 6 地方の社会資本整備を推進するための予算の確保について

国土交通省 津川政務官への提言



大船渡港が

『新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾』
に選定されました！！

いわゆる「重点港湾」

平成22年8月3日、国土交通省が『新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾』、いわゆる「重点港湾」として、全国103港の重要港湾の中から43港を選定したと発表し、本県では、**大船渡港が選定**されました。

県では、築造後40年以上経過して老朽化が進んでいる大船渡港の湾口防波堤について、直轄港湾整備事業による緊急な対応が必要であることから、大船渡港をいわゆる「重点港湾」として選定するよう、重要港湾のある沿岸各市の理解もいただきながら、国に働きかけてきました。

今後は、大船渡港の湾口防波堤改良の早期事業化や、現在整備中である久慈港の湾口防波堤や、宮古港の竜神崎防波堤の整備促進を引き続き要望していきます。



県土整備部への要望等に関する取組状況を公表しています！

～ 県民や団体等に対する説明責任の向上を目指して ～

県土整備企画室

本県では、県民の日常生活における利便性の向上を図るとともに、安全で安心な暮らしを守り、地域の産業を支えるため、道路や河川をはじめとする社会資本整備を進めて来ましたが、高規格幹線道路の整備や、通学路の歩道、医療機関へのアクセス道路などの生活幹線道路の整備、地震や津波、洪水、土砂災害から県民の生命・財産を守る防災施設の整備など、未だに十分な整備ができていない状況です。このため、本県には、さまざまな団体から、社会資本整備に関する数多くの要望等が寄せられています。

県土整備部では、これまで、団体等との要望会の場において、要望等に対する取組状況を個別に回答してきましたが、県民や団体等に対する説明責任の向上を図るため、今年度から、**要望等に関する取組状況を岩手県ホームページ（県土整備部ポータルサイト）**で公表しています。また、年度末には、その後の取組状況等に変更があった場合、「県政への反映区分」を更新することとしています。

今後とも、地域の実情を踏まえつつ、「選択と集中」により一層の重点化を図りながら、必要な社会資本整備について、着実に進めていきます。

「県政への反映区分」とは？？
要望等に対する県政への反映状況を5つに区分したものです。
要望の趣旨に沿って措置したもの：A
実現に努力しているもの：B
当面は実現できないもの：C
実現が極めて困難なもの：D
その他：S、T



県土整備部への要望等に関する取組み状況の詳細は、こちらのホームページ（県土整備部ポータルサイト）をご覧ください！
<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=3821&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=3821>



『森と湖に親しむ旬間』イベント開催！



河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』の関連イベントを開催し、たくさんの家族連れや地域の方々の参加で、大いににぎわいました。
県営6ダムについて、その様子をお知らせします。

入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2010！」 平成22年7月24日（土）

施設見学



降雨のため森林教室が中止となりましたが、湖面パトロールや施設見学など他のイベントは盛況に行われました。参加者に洪水調節の仕組みを説明するなど、ダムに対する知識を深めてもらうように工夫しました。

<実施内容>

- ・ダム施設見学、発電施設見学、浄水場施設見学
- ・湖面パトロール、スタンプラリー
- ・ダムライトアップ 他

<参加状況>

- ・298名

綱取ダム（盛岡市） 「森と湖 in 綱取 2010！」 平成22年7月28日（水）

魚のつかみ取り



好天に恵まれ、子供から大人まで魚のつかみ取りや木工教室、スタンプラリーやダム湖巡航などに参加し、湖畔のひとときを大いに満喫しました。

<実施内容>

- ・ダム施設見学、スタンプラリー
- ・木工教室、魚のつかみ取り
- ・森林浴、植物観察会
- ・ダム湖巡航 他

<参加状況>

- ・203名

早池峰ダム（花巻市） 「森と湖に親しむ子どもまつり」 平成22年7月29日（木）

全員集合！



ボートによる湖面パトロールやカヌー体験が好評でしたが、もっとも盛り上がったのが魚のつかみ取りで、子供たちは、水に入らず濡れになりながら楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設及び発電所の公開、
- ・湖面パトロール、ウォークラリー、
- ・カヌー体験、木工細工教室
- ・魚のつかみ取り、稚魚放流 他

<参加状況>

- ・162名

日向ダム（釜石市） 「日向ダム湖畔の集い」 平成22年7月31日（土）

木工教室



自然豊かな日向ダムで、県産材を利用したイス、本棚などの製作や自然の枝を利用した木工細工を体験するなど、森林とふれあい、多目的広場ではグラウンドゴルフ大会を開催し、自然を満喫しました。

<実施内容>

- ・ダム施設の公開、ダム湖面パトロール
- ・木工教室、木工細工、グラウンドゴルフ大会
- ・子供ニジマス釣り大会 他

<参加状況>

- ・418名

鷹生ダム（大船渡市） 「第4回五葉湖畔の集い」平成22年8月1日（日）

グラウンドゴルフ大会



綾里川ダムから鷹生ダムに会場を移して今年で4回目のイベントとなりました。

天候もよく、多くの方が来場し、グラウンドゴルフ大会、ボート体験など、各種イベントを楽しみました。

<実施内容>

- ・ダム施設見学、グラウンドゴルフ大会
- ・木工教室、森の工作館エコカーゴ展示
- ・ボート体験、気仙スギ積み木競争 他

<参加状況>

- ・343名

滝ダム（久慈市） 「長内川川まつり」 平成22年8月1日（日）

カヌー・カヤック体験



長内川川の会（市民団体）と共催し、官民がお互いの持ち味を活かしたイベントを開催しました。

子供たちは、カヌー・カヤック、浮き輪レースなどを体験し、水に親しみ大いに楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設、発電所の公開、湖面パトロール
- ・カヌー、カヤック体験、浮き輪レース、
- ・イワナつかみ捕り、リース製作、木工教室 他

<参加状況>

- ・1500名

「森と湖に親しむ旬間」(7月21日～31日) とは??

森林や湖に親しむことによって心と体をリフレッシュしながら、治山・治水及び水資源としての森林整備やダム・河川等の重要性について広く学んでもらおうとするものです。

旬間とその前後には全国各地でいろいろなイベントが開催されています。

岩手県公営住宅等長寿命化計画を策定しました！！

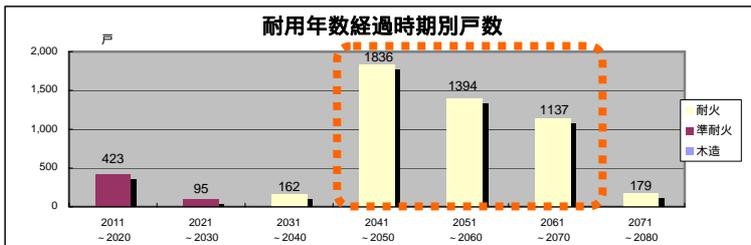
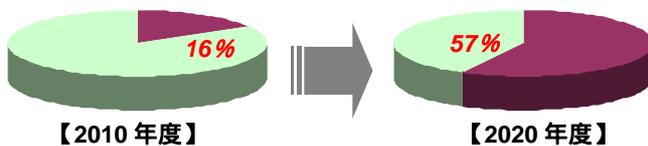
～ ストックの計画的な更新・維持管理により持続可能な住宅セーフティネットの構築を目指します ～
建築住宅課

1 背景と目的

岩手県の県営住宅は、1971年以降30年間に建設されたストックが80%以上に上り、これらが2041年以降の30年間に、一斉に耐用年数を迎えます。管理戸数5千戸余のうち、耐用年数の過半を経過したストックは、現在16%程度ですが、10年後には50%を超える見込みです。

所得格差が拡大傾向の社会状況にあり、住宅セーフティネットとしての県営住宅の役割は依然重要です。厳しい財政状況下、県営住宅を将来にわたり適正に維持していくためには、ストックの有効活用と効率的かつ円滑な更新を実現することが必要です。

耐用年数の過半を経過するストックの割合



老朽化した県営住宅(準耐火構造)

ストックの効率的・効果的な活用手法を定め、適切にマネジメントしていくことにより、住宅セーフティネット機能の維持向上を図ることを目的として、「**岩手県公営住宅等長寿命化計画**」を策定しました。【計画期間:2010年度～2020年度】

2 基本方針 <総合的なストックマネジメントの実施>

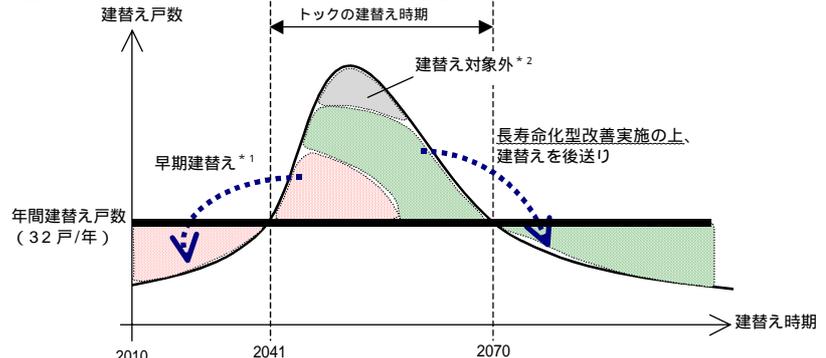
将来にわたり県営住宅を安定的に供給していくため、必要な建替えと改善を着実に実施していきます。長寿命化型改善の実施や適切な維持管理により、ストックの長期供用とLCC(ライフサイクルコスト)の縮減を図ります。ストックの更新時期を長期的視点から計画的に設定することにより、将来の事業量の平準化を図ります。

【建替・改善の目標戸数】

- 建替戸数
32戸/年ペース
- 長寿命化型改善戸数
48戸/年ペース

計画期間内の建替えは、同期間内に耐用年数を超過する準耐火構造ストック423戸について推進します。(建設戸数320戸)

【事業量の平準化のイメージ】



*1: 機能上または安全上、耐用年数までの維持が困難なストック

*2: 将来の需要その他の条件により一定程度生じると推測される建替えに適さないストック

3 長寿命化のための維持管理の方針

<ストックの特性に応じた適切な更新・維持管理の実施によるストックの長寿命化・LCCの縮減>

今後の住戸改善は、1971年以降建設された住宅のうち、耐用年数(70年)以上使い続ける住宅に対して行うこととし、基本的には長寿命化型改善により耐久性の向上や維持管理コストの低減を図るとともに、他の改善メニューとの組み合わせにより居住性、安全性等の確保を図っていきます。

ハード面の整備のほか、ソフト(運用)面での改善を併せて実施することにより、より効率的・効果的なストックの活用を図っていきます。

改善予定のストック以外についても、予防保全的な修繕・維持管理を計画的に実施し、長寿命化を図っていきます。

長寿命化のためのストック改善の内容

a. 居住性向上型・福祉対応型・安全性確保型

生活設備の充実化やバリアフリー化等、現代的ニーズに対応するストックの機能更新を図ります。

b. 長寿命化型

構造躯体や基幹配管の耐久性・メンテナンス性の向上により、ストックの長寿命化を図ります。



居住性等向上型のイメージ
(設備更新、床段差解消等)



長寿命化型のイメージ
(外壁外断熱)

運用改善によるストック有効活用策(3つの新たな取り組み)

高齢者対策

高齢者等の1階への入居を誘導し、昇降負担の軽減を図ります。

駐車場対策

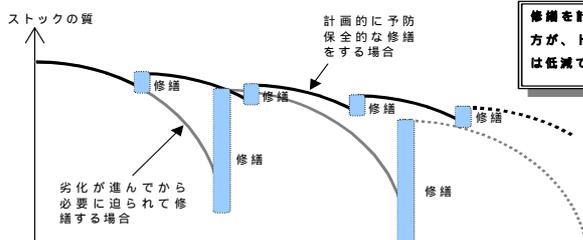
1住戸2台駐車を認め、区画の有効利用と迷惑駐車車の解消を図ります。

風呂釜対策

風呂釜の再利用を認め、新規入居時の負担軽減等を図ります。

ストックの計画的な修繕・維持管理の実施

【計画的な修繕・維持管理によるLCC低減のイメージ】



計画修繕例:外壁(亀裂補修)の状況

「いわて汚水処理ビジョン2010」(素案)を作成

～ パブリック・コメントを実施します ～

下水環境課

1 パブリック・コメントの実施について

県では、下水道や集落排水、浄化槽などの汚水処理施設について、どの地域にどの施設を整備するのかを示した県構想「いわて汚水適正処理ビジョン2004」を策定し、汚水処理施設に整備に取り組んでいます。

「いわて汚水適正処理ビジョン2004」は、平成16年度に策定しましたが、その後の整備状況や、社会経済情勢などの変化を踏まえて、今年度見直しを進め、次期県構想の素案として「**いわて汚水処理ビジョン2010**」(素案)を作成しましたので、この素案について県民の皆様のご意見を伺うため、パブリック・コメントを実施します。

2 「いわて汚水処理ビジョン2010」(素案)について

「**いわて汚水処理ビジョン2010**」(素案)は、構想編、計画編、資料編の3部で構成しています。

構想編では、汚水処理施設についての説明とこれまでの取組結果、社会経済情勢等の変化、今後の課題、新たな方針を記述しています。計画編では、新たな計画と新たな目標を記述しています。

「**いわて汚水処理ビジョン2010**」(素案)は、県庁、各地区合同庁舎などのほか、下記の岩手県公式ホームページから閲覧できます。

「**いわて汚水処理ビジョン2010**」(素案)はこちら

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=834&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=785&pnp=834&cd=26428>

3 パブリック・コメントの意見募集の期間と意見の提出方法

募集期間：**平成22年8月30日(月) ～ 平成22年9月29日(水)**

ご意見の提出方法

- ・ 郵送(手紙、はがき)、FAX、電子メールにより、下記の提出先までお送りください。
- ・ ご意見には、ご住所、お名前を必ずご記入ください。

【提出方法】

郵送：

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

岩手県県土整備部下水環境課

FAX：019-629-9130

電子メール：AG0008@pref.iwate.jp



親子で見るダムの現場！！

～ 築川ダム「川の生きもの調査&付替え道路見学会」を開催 ～

盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所

平成22年7月27日(火)、盛岡市周辺にお住まいの親子14名に参加していただき、**築川ダム「川の生きもの調査&付替え道路見学会」**を開催しました。

参加した皆さんには、築川ダム建設事務所内の広報コーナーでパネルやビデオにより、ダムの役割について学んでいただいた後、ダム模型による洪水実験を体験していただきました。その後、ダム建設予定地の上流に位置する根田茂川での生きもの調査や付替え道路見学などを体験していただきました。生きもの調査ではヘビトンボ、ヒラタカゲロウなどきれいな水にすむ生きものが確認できたほか、カジカも5匹捕ることができ、子供たちからは、大きな歓声があがりました。付替え道路見学では、工事用エレベーターで33mの橋脚を昇って、鉄筋コンクリートで作っている橋の施工状況を見学しました。

参加した親子からは「川に入って楽しかった。」「普段見ることができない場所を見ることができた。」「来年もまた参加したい。」などの感想をいただきました。

築川ダム建設事務所では、築川ダム建設への理解を深めていただくため、随時見学を受け付けていますので、下記までお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】築川ダム建設事務所 TEL：019-652-8821

広報コーナーでの説明



川の生きもの調査



カジカ捕りました!!



県道10号橋の上で記念撮影



「遠野地域環境美化活動」を実施しました！

～ 河川愛護月間(7月)・道路ふれあい月間(8月)関連イベント～

県南広域振興局土木部 遠野土木センター

遠野土木センターでは、平成 22 年 8 月 5 日(木)に「遠野地域環境美化活動」を実施しました。この活動は、(社)岩手県建設業協会遠野支部青年部が主催、上猿ヶ石川漁業協同組合・遠野納涼花火まつり実行委員会・遠野市環境整備部及び遠野土木センターの共催で、「河川愛護月間(7月)」と「道路ふれあい月間(8月)」の関連イベントとして十数年前から実施しているものです。

早瀬川河川敷地(納涼花火まつり会場)
での除草・集草活動(37名)



国道 283 号・道の駅「みやもり」周辺の
ゴミ拾い・デリネーター清掃活動(12名)

国道 107 号小友地区でのゴミ拾い
デリネーター清掃活動(12名)



全作業終了後の閉会式(総勢 89 名参加)



活動当日は、最高気温 **34.7** という**猛暑・炎天下**の中、熱中症対策として水分補給に気を付けての作業でしたが、補給した**水分**がすぐ**汗**となって流れ出るといふ本当に厳しい暑さでした。しかし、体調を崩した人もなく、無事終了することができました。

また、(社)岩手県建設業協会女性マネジメントスタッフにも、国県道沿いの花壇の草取り作業を実施していただき、総勢 89 名に環境美化活動へ参加していただきました。

遠野市は「永遠の日本のふるさと」と称して地域づくりを進めており、この素晴らしい環境を子供たちに残していくためにも、本活動を今後も継続していくほか、ビジネスパートナー等との連携により、様々な地域活動に取り組んでいきます。

織笠川水門の整備が進んでいます！！

～ 土木一期工事、順調に進捗 ～

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

二級河川織笠川の津波対策として、県が山田町で整備を進めている織笠川水門の工事が順調に進んでいます。

織笠川水門は、明治29年三陸大津波相当の津波を防ぐことを目的に、津波の河川遡上を防ぐ水門と住宅への侵入を防ぐ防潮堤により構成されています。

水門の工事は、大きくは右岸側と左岸側に分け、さらに水門本体は土木工事と機械設備工事に分けて施工します。現在は、まだ水門土木一期工事（右岸側の土木工事）の段階です。これまでの工事で、地盤改良、杭基礎、水門本体（4号、5号堰柱）を施工し、現在の工事では3号堰柱、翼壁、水叩き、護床、取付護岸などを施工しています。現在は、本体部がほぼ完成し、カーテンウォール（水門ゲート上部のコンクリート壁）や取付護岸等を施工しているところです。土木一期工事の終了後は、右岸側の取付防潮堤や機械設備工事を進めていく予定です。

また、7月と8月の2ヶ月間（19時～21時）現場のライトアップを行っていますので、近くにお越しの際は是非ご覧ください。



「住まエネフェスタ 2010」を開催します！！

建築住宅課

県では、住まいとエネルギーの総合イベント「住まエネフェスタ 2010」を、平成 22 年 9 月 3 日(金)～5 日(日)の3日間、盛岡市のアイスアリーナで開催します(入場無料)。



今年は、「体感しよう!エコな住まい、エコな暮らし!」をテーマに、住宅やエネルギーに関する企業・団体による最新機器・商品の展示や、住まいや暮らし、地球温暖化防止や新エネルギー・省エネルギーに関する最新情報の提供など、住まいや暮らしに役立つ情報満載の内容となっています。

今回は、フリーアナウンサーの大橋マキさん(元フジテレビアナウンサー)のトークショーのほか、ライブペイントショーやアニメのキャラクターショー、クイズやもちまきなど、お子様からお年寄りまで幅広く楽しめるイベントを多数開催します。

是非、ご家族そろって「住まエネフェスタ 2010」にお越しください！！

なお、ご来場に際しましては、公共交通機関のご利用をお願いします。

詳しくは、住まエネWEB (<http://www.suma-ene.net/>) をご覧ください(出展者、イベント情報等について随時更新します)。

「住まエネフェスタ 2009」
(昨年度)開催状況



『下水道フェスタ'10』が開催されます！

下水環境課
北上川上流流域下水道事務所

「下水道の日」の記念行事として、平成22年9月11日(土)(10時~15時)、盛岡市東見前の都南浄化センターを会場に、(財)岩手県下水道公社主催による『下水道フェスタ'10』が開催されます。

今年は、『ニコニコ！エコエコ！下水道！！』をテーマに、下水処理場の見学や顕微鏡を使って微生物を観察する体験コーナーのほか、下水道をモチーフにしたパソコンゲーム、顕微鏡などの豪華賞品がもらえる下水道スタンプラリーや、スーパーボールすくい、各種ステージパフォーマンスなどの楽しい企画満載です。

冷たい飲み物、わたあめ、ポップコーンなどの無料提供や、チューリップの球根・ヘリウム風船の来場者プレゼントもあります。子どもから大人まで、楽しんで、学べるイベントですので、是非、ご来場ください。

「下水道の日」とは??

下水道は、「浸水から街を守る」という重要な役割を持つことから、立春から数えて220日、統計的に台風などが多いこの時期の毎年9月10日を「下水道の日」と定めています。

下水道フェスタ'09の開催状況





土砂災害写真パネル展を開催します！

～ 防災に対する理解と関心を高めることを目指して ～

砂 防 災 害 課

土砂災害は、毎年全国各地で発生し、私たちの生活に大きな影響を与えています。

岩手県では、過去 30 年の間に約 400 件の土砂災害が発生しており、平成 14 年には台風 6 号により釜石市松原地区で土石流が発生し、2 名の尊い人命が失われました。さらに、平成 20 年には岩手・宮城内陸地震で大規模な土砂災害が発生したほか、今年 7 月の岩手県内陸北部の局地的大雨により岩手町で土砂災害が発生するなど、土砂災害が多発しています。

土砂災害の防止を目的とした施設の整備は、全国的に遅れているのが実態で、本県も例外ではありません。県内には土砂災害危険箇所が 14,348 箇所もあり、住民が安全かつ安心して暮らせるようになるには、まだまだ時間がかかります。

こうしたことから、土砂災害から尊い人命を守るためには、行政と住民が互いに協力し合い、「有事の際に住民自らが判断し、自主的に避難する体制」を築くことが必要不可欠です。

県では、県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介し、一人でも多くの方々に「防災に対する理解と関心」を持っていただくことを目的として、「NPO 法人防災ネットいわて」と協働で『土砂災害写真パネル展』を開催します。

皆さま、是非ご来場下さい。

開催期間及び場所

期間：平成 22 年 8 月 30 日（月）～ 9 月 10 日（金） 8 時 30 分～17 時 00 分

場所：県庁 1 階 県民室

展 示 内 容

- ・ 岩手の地質、土砂災害の前兆現象
- ・ 「岩手・宮城内陸地震」の被災状況と応急対策
- ・ 県内外で発生した土砂災害の写真（がけ崩れ、土石流、地すべり等）、
- ・ 気象台と連携した土砂災害警戒情報の概要、土砂災害防止法の概要（ビデオ放映） など



昨年度の展示の様子



中国・九州北部豪雨による被災状況
（展示写真より：山口県写真提供）

パネル展に関するお問い合わせ

県庁砂防災害課（土砂災害対策担当） T E L : 019-629-5922・5923

NPO 法人防災ネットいわて T E L : 019-643-8890

明日を担う若手職員を紹介します！

No.4 築川ダム建設事務所 技師 村上吉剛さん

美しい県づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第4回は、**築川ダム建設事務所の村上技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成13年度入庁

盛岡地方振興局土木部（現 盛岡広域振興局土木部）県庁道路建設課などで主に道路工事の設計監督業務や道路整備予算の管理などを担当してきました。

（現在）築川ダム建設事務所3年目

主に築川ダムの付替え道路の設計や工事監督を担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

築川ダムの付替え道路の計画延長は約7kmと長く、大きな橋やトンネルが計画されており、このような大規模な事業に携わることにより大きなやりがいと責任を感じています。

また、現場見学会などで地域の住民の方々と触れ合う機会もあり、出先事務所ならではの楽しみもあります。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

築川ダムの付替え道路は、事業着手から10年以上経過しているため、これまでの工事や関係機関協議などの資料も膨大です。これらを確認し理解しながら仕事を進めることが難しいと感じています。

Q4 どんな職場ですか？

若手から中堅、ベテランまでバランスよくそろっていて、それぞれの立場・経験から自由な意見が言い合えるととても良い職場です。

今月号の『現場ニュース』にも掲載していますが、築川ダム建設事務所ではダム模型などの各種展示物を取りそろえてあるほか、生き物調査や現場見学会を実施しています。事務所は盛岡市東中野にあり県庁から車で15分程度です。お気軽にご連絡ください。

Q5 最後に一言（今後の抱負など）！

年齢・風貌から私が若手と言えるのか？？？かなり微妙なところですが（笑）経験的にはまだまだ若手ということで、入庁時のフレッシュな気持ちを忘れずに、引き続き県民のみなさまの視点・立場で業務を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

橋の工事現場での様子。向かって右が私、左は請負業者の方です。

